

へいわだより

2024年
1月号

今年の元旦は地震のアラートを聞き、大変に驚きました。皆様の中でも家族の団欒の中で地震や事故の報道に触れ、ご不安にあつたかと思えます。困難さの只中にある北陸の被災地を思い、心からお見舞い申し上げます。

さて、子どもたちは年末年始のお休みの間、楽しく過ごしたことがよくわかりました。集まって座っていても、お互いの喜びの報告が続いて、にぎやかな様子です。そのような中で子どもたちと新しい年最初の礼拝をささげました。

「心の貧しい人々は、幸いである」(マタイ五章三節)
イエス様の話を聴くために集まった人たちは、貧しさや病氣、困難さを持っている人々でした。そういった人々を前に、そういう人は幸せだとイエスさまが言うのです。たくさんのものに満たされた私たちは心の中を何で満たして喜びとするでしょうか。

今日の話は子どもにも届いたように思います。他者に心が向かうことができる優しい子どもたちです。被災地のことを思う気持ちも相まって、礼拝後の子どもたちの心の変化は表情からわかりました。保育園の中でいただくあたたかな光が少しでも周りの方を明るくすることができそうですように願っています。

利用者の皆様、また保育者を含め関係の方々から被災の状況を伺っております。当施設でも出来る支援が果たせたらと願っています。今年一年も争いや災いから、子どもたちが守られるように、毎日感謝と喜びをもって、歩むことができるように願います。

これまでのお支えに感謝するとともに、新しい年もよろしくお願い申し上げます。

☆一月の聖句

「愛は忍耐強い。愛は情け深い。」



コリントの信徒への手紙一 十三章四節

結婚式でよく読まれる聖書の箇所です。

相手を思う心とは時間をかけて育まれるものであることを教えています。イエス様は私たちのために待ってくださいる方です。

1月		
1	月	年始休園日
2	火	
3	水	
4	木	
5	金	
6	土	
7	日	
8	月	成人の日
9	火	
10	水	
11	木	
12	金	
13	土	
14	日	
15	月	誕生日会
16	火	
17	水	
18	木	健康体育
19	金	【避難】
20	土	
21	日	
22	月	
23	火	おんがく
24	水	
25	木	防災センター(ばら)
26	金	
27	土	※個人面談
28	日	
29	月	
30	火	
31	水	

☆クリスマス献金について

。喜びのクリスマスを通して、穏やかな毎日を過ごすことができない方々、殊に子どもたちがあることをおぼえます。献金のご協力を感謝申し上げます。献金総額 十一万三千五百六十八円也

この献金は、キリスト教保育団体、介護、医療、児童福祉事業を行う団体、後援会に送金させていただきました。殊に、今年には能登半島地震被災者支援、ガザ地区人道支援、ウクライナ人道支援、県内児童養護施設支援、保育研修団体支援に用いられます。(具体的な送金先については館内掲示をご覧ください)

・使用済みタオルなどの寄贈について

ご家庭で使用済みタオルなどがございましたら、保育園にお持ちくださるとありがたいです。拭き上げ等に使用させていただきます。

☆これからの予定

・防災センターへお出かけ(ばら組)一月二十五日(木)
園バス二台で西部防災センターへ向かいます。

暴風の体験、火災時の煙からの避難など、実際に体験しながらの訓練を行う施設です。

午前中に帰園し、園で給食をとります。

※地震体験機は、調整中とのことです。

・個人面談 一月二十七日(土)

お家の方とクラスの保育者との面談の機会を持ちます。今回は希望者のみとします。ルクミーにて、アンケートフォームをお送りしています。時間の調整はクラスからご案内します。

・保護者懇談会

(ひよこ・うさぎ・たんぼぼ・すみれ・ゆり組)

保護者の懇談(交流)の機会を持ちたいと思います。保育時間の中で実施しますのでご無理のない範囲でご参加ください。日程などの詳細は後日ご案内します

